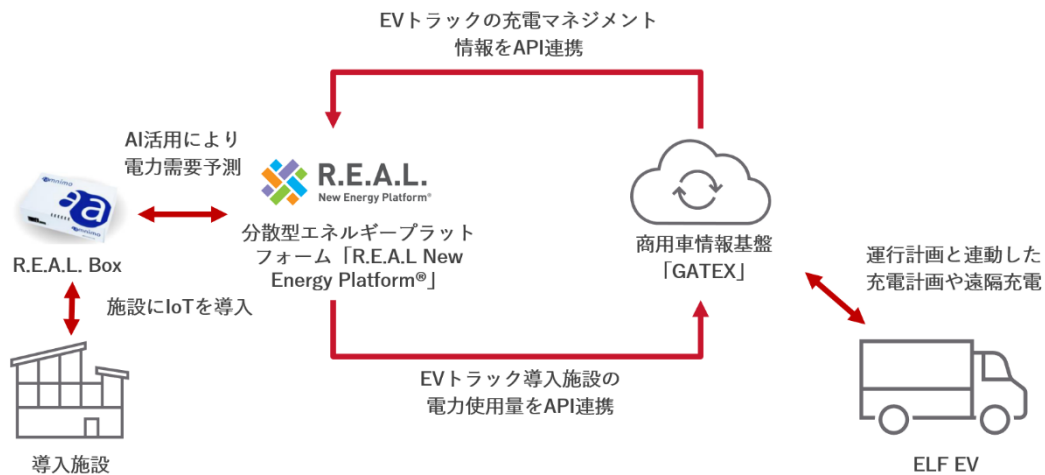


2023年3月7日  
株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ

## アイ・グリッド・ソリューションズ いすゞ初の量産 BEV「ELF EV」への 施設と連動した充電マネジメントの機能連携を開始 ～R.E.A.L. New Energy Platform®と商用車情報基盤「GATEX」の機能と連携～

グリーンテックを推進し、グリーンエネルギーが地域をめぐる持続可能な世界の実現を目指す株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:秋田 智一、以下「アイ・グリッド」)は、いすゞ自動車株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:片山 正則、以下「いすゞ」)と協業し、ELF EV を含む商用車の運行管理や車両の稼働サポートサービスを提供している商用車情報基盤「GATEX」にアイ・グリッドのエネルギー管理プラットフォーム「R.E.A.L. New Energy Platform®」を連携させることになりました。

### 施設側の電力使用状況を踏まえた充電マネジメントが可能



#### 本リリースの概要

- ELF EV を含む商用車の運行管理や車両の稼働サポートサービスを提供している商用車情報基盤「GATEX」と「R.E.A.L. New Energy Platform®」を連携
- 施設側の電力使用状況を踏まえた充電マネジメントが可能
- デマンド対策を兼ねた運行計画を組み立てることで、今後の EV 普及に貢献

詳細は次ページ以降をご確認ください

## 今後のEV普及を見据えたエネルギーマネジメントで効率よく充電を行う

アイ・グリッドの「R.E.A.L. New Energy Platform®」は、AIによる高精度の余剰電力予測とDERのきめ細かい自動制御が可能なエネルギーマネジメントプラットフォームです。太陽光発電量/電力需要量/蓄電池やEVの充放電状況等の情報を収集しデータをクラウドに送信。クラウド上のAIが、受信データと電力市場価格等の外部情報を併せた高精度の予測分析を行い、太陽光発電の余剰量算出や機器の自動制御シナリオを作成します。PPAによる太陽光発電(PV)の余剰電力流通及びPV・蓄電池・EV等の分散電源制御によるエネルギーコントロールができます。

GATEXには運行計画と連動した充電計画や遠隔充電管理の機能が搭載される予定です。環境問題や企業の社会的責任という観点からも、今後EVの普及が予測される中、EVの充電を効率よく行い施設側でのコントロールが求められてきます。

たとえば、宅配業者の運行であれば、夜間に運行を行わないことで、夜間に充電を実施します。そのため、夜間に一気に充電することで施設のデマンドピークが押し上げられることになります。これにより電気コストの負担という新たな課題が発生することになります。

こうした課題を解決するため、GATEXにアイ・グリッドの高精度な予測技術を用いたプラットフォームを採用いただくことが決定いたしました。今回の機能連携によりEVの充電及び施設のエネルギーマネジメントの統合的な管理を行い、効率的なエネルギーマネジメントを実現させます。

今回の提携により、EV普及による課題解決および再生可能エネルギーの普及を加速させ、余剰電力も含めた再エネ電源を最大限に活用し、地域脱炭素社会の実現と再生可能エネルギーの一層の導入促進に貢献してまいります。

### ■株式会社アイ・グリッド・ソリューションズについて

アイ・グリッド・ソリューションズは、仮想発電所(VPP)事業、エネルギーマネジメント事業、電力供給事業を通じた脱炭素ソリューションを統合的に展開するエネルギーサービスプロバイダー。子会社であるVPP JapanはオンサイトPPAモデル国内No.1※の事業を手がけている。グリーンテックを推進し、グリーンエネルギーが地域をめぐるサステイナブルな世界の実現を目指します。環境省 第9回グッドライフアワード 環境大臣賞 最優秀賞受賞

※富士経済 再生可能エネルギー発電システム・サービス市場/参入企業実態調査 2022 第三者所有モデル(PPA、リース)・非住宅(10kW以上)・2021年度実績

社名:株式会社 アイ・グリッド・ソリューションズ  
本社所在地:〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-7-4  
代表者:代表取締役社長 秋田 智一(あきた ともかず)  
資本金:3,530百万円(2022年12月末時点)※資本剰余金含む  
従業員:100名  
設立:2004年2月  
会社HP:<https://www.igrid.co.jp/>  
オウンドメディア「グリラボ」:<https://gurilabo.igrid.co.jp/>